

平成30年度入学 一般選抜前期日程  
外国語（英語） 講評

第1問

【出題のねらい】

単語、構文、代名詞、熟語の理解や運用能力をみること及び「精読」の上、大きな範囲の意味を理解する力をみることをねらった。

【講評】

全体的に7割程度の正答率だった。説明的文章を読む際は、俯瞰的に見渡しながら読むことが必要である。

問1

構文、前置詞、単語などに関する問題で、前後の文脈から解答を推測することができる。

問2

全体的に、語彙の間違いや基本的な文法の間違いが目立った。また、注意不足による誤答も散見した。

問3

構文の知識を問う問題である。Some（+名詞）…others…というパターンは二つの物、人、事柄等を対比して述べるときによく用いられる。問題箇所となっている1行前のSomeの後ろにparentが省略されていることを見落とした解答が多かった。

問4

熟語を別の表現で言い換えられるかどうかの知識を試す問題である。正答率は高かった。

問5

携帯電話の使用を禁止することを述べた段落だということを読み取れている解答は多かった。しかしworkを「仕事」ととらえて、正確な理由の把握ができていない解答もみられた。

## 問6

約5割程度の正答率だった。誤答としては、長文から得た情報ではなく、一般常識で答えようとする傾向がみられた。また、reachやduring the dayの意味を理解していないとみられる解答も目立った。

## 第2問

### 【出題のねらい】

話の展開を把握する力をみる問題である。また、細かな情報を読み取った上で、適切なタイトルを考える力をみることもねらった。

### 【講評】

全体的には5割程度の正答率だった。

## 第3問

### 【出題のねらい】

会話での英語表現を幅広く知り、実際に使用できるかをみることをねらった。文脈に合った自然な表現で作れるかどうかの評価のポイントとなる。

### 【講評】

5割程度の正答率だった。また、必要以上に長い解答が多くみられた。日頃から英語の会話文を多く読み、数多くの英語表現を覚えることが重要である。

## 第4問

### 【出題のねらい】

場面に応じた日常会話表現の理解を試す問題である。多様な場面の広範な話題に適切な表現で対応する力をみることをねらった。

### 【講評】

5割弱程度の正答率だった。本問題は、会話文を読み、正しい状況設定を想像できれば、正しい解答を導き出すことができる。日頃から多くの会話文を音読する習慣を持つと良いだろう。

## 第5問

### 【出題のねらい】

本問題は、メールを読んで意味を掴み、その上で求められている目的に応じた表現形式や表現方法を使用した返信を書くことができるかをみることをねらった。さらに、メールの受取人と書き手の関係性なども考慮し、それにふさわしい語彙や表現が使えるかを問うた。

### 【講評】

5割強程度の正答率だった。最低限以下の情報しかメールに含まなかったり、指示文を英訳しただけだったりした解答が散見した。また、問題文のメールを正しく読めていない解答やスペリングミス、文法上の間違いのある解答もみられた。